

滋 薬 感 対 第 1052 号
令和元年(2019年)9月5日

一般社団法人 滋賀県医師会長 様
一般社団法人 滋賀県病院協会長 様
各地域医師会長 様

滋賀県健康医療福祉部薬務感染症対策課長
(公 印 省 略)

ラグビーワールドカップ2019日本大会開催に伴う感染症発生動向調査
の取組強化について

平素は、本県の感染症対策に御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

このことについて、令和元年9月3日付け健感発 0903 第1号で厚生労働省健康局
結核感染症課長から別紙のとおり通知がありましたので、お知らせします。

つきましては、貴会員あて情報提供について、よろしくお願いします。

滋賀県健康医療福祉部 薬務感染症対策課 感染症対策係 舟山 TEL 077-528-3632 FAX 077-528-4863

健感発0903第1号
令和元年9月3日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長
(公 印 省 略)

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催に伴う感染症発生動向調査の
取組強化について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号。以下「感染症法」という。）に基づく感染症発生動向調査については、先日の「感染症発生動向調査の機能の強化等に向けた担当者説明会」（令和元年6月14日開催）でお示ししたとおり、マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）等、感染症の発生リスクが増加することが見込まれる期間中においては、感度を高めた運用を実施することとしております。

今般、別紙のとおりラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されることに伴い、別添のとおり、感染症発生動向調査の取組を強化した運用を行うこととします。

貴職におかれては、これらの内容を御了知の上、関係機関等への周知を図るとともに、その実施に遺漏なきようお願いいたします。

感染症発生動向調査の取組強化（ラグビーワールドカップ2019日本大会）

1. 実施期間

- 2019年9月6日（金） ～ 2019年11月15日（金）（大会開催期間の前後2週間）

2. 取組強化の方針とその方策の具体例

- 各自治体の状況に応じ、以下の事項について感染症発生動向調査の取組強化を実施し、感染症発生に対する感度を高めた運用に努めていただきたい。
- あわせて、各自治体における感染症発生時の関係者（本庁、保健所、地方衛生研究所、関係医療機関、関係自治体等）間の連絡体制の確保についても、遺漏なきよう改めて留意いただきたい。

（1）感染症発生動向調査の徹底

- ・ 管内の医療機関（特に大会関係医療機関・医師等）に対する感染症法に基づく発生届出の徹底
- ・ 全数・定点対象疾患のモニタリング体制の強化（異常を早期に探知）
- ・ 発生届出について、大会関係者に関する情報の追加収集（NESIDの備考欄を活用）

（2）自治体間情報共有（※）の積極的な活用

- ・ 大会開催期間の前後一週間（2019年9月13日（金） ～ 2019年11月8日（金））は取組を強化し、毎営業日実施

（※）具体的な内容は「感染症サーベイランスシステムを活用した感染症発生動向の自治体間情報共有の運用について」（令和元年8月28日付結核感染症課長通知）を参照

- ・ 自治体間情報共有の対象となる5疾患についてNESIDでの「確認処理」を早期実施

（3）疑似症サーベイランスの取組強化

- ・ 大会関係医療機関に対する疑似症定点の追加指定
- ・ 大会開催期間中のゼロ報告の勧奨

（4）その他、各自治体において大会開催期間中に有益と考えられる取組

3. 主な関係通知等

- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について（平成31年2月21日付厚生労働省健康局結核感染症課長通知）
- 疑似症サーベイランスに係る関係資料一式の送付について（令和元年8月28日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）
- 感染症サーベイランスシステムを活用した感染症発生動向の自治体間情報共有の運用について（令和元年8月28日付厚生労働省健康局結核感染症課長通知）

ラグビーワールドカップ2019日本大会開催期間中の感染症発生動向調査の取組体制イメージ

○ ラグビーワールドカップ2019日本大会の期間中については、様々な国からの訪日客の増加が見込まれ、国内に常在しない感染症が持ち込まれたり、国内で流行している感染症が選手を含む訪日客に波及し、滞在中や帰国後に発症し、感染が拡大するおそれがあることから、感染症発生動向調査に係る取組を強化し、**国内で発生した感染症を早期に発見し、関係者間で共有する体制を構築する。**

各自治体における取組

感染症発生動向調査に係る取組を強化することで、
感染症の発生動向を早期に探知し、迅速に情報共有

感染症発生動向調査（通常時）



① 感染症発生動向調査の徹底

- 感染症発生に係る届出の徹底
- 全数・定点把握対象疾患のモニタリング体制の強化
- 大会関係者に係る情報の追加収集 等

② 自治体間情報共有の積極的な活用

- 大会期間中は毎営業日自治体間情報共有を実施 等

③ 疑似症サーベイランスの取組の強化

- 疑似症定点への大会関係医療機関の指定
- 大会期間中のゼロ報告の勧奨 等

感染症発生動向調査に関する
情報を一元的に集約

ラグビーワールドカップ
大会関係組織等

- 日報を通じた感染症発生情報の定期的な共有

感染症サーベイランスシステム（NESID）

所見	アセスメント
全数報告5 疾患*	9月26日に登録された症例数（確認済み のもの）は、中東呼吸器症候群 0例、肺 菌血症・大腸菌感染症 5例、腸炎性細菌 感染症 1例、麻しん 1例、風しん 1例
疑似症	9月26日に登録された症例はない。
報道発表 資料	〇〇県〇〇市においてホテルで感染性胃 腸炎の報告がある
その他、国 内情報**	特記事項なし 同地域では9月30日にラグビーWCの 大会が開催される予定である。
海外情報	フィジーにおいてデング熱の流行に資し て、OHCRIに緊急事態宣言が発表され た。

日報（案）のイメージ

厚生労働省
国立感染症研究所

- NESIDを中心とした各自治体との情報連携
- 説明会等を通じた各自治体の取組支援

期間 9月20日～11月2日
 場所 全国12会場で開催（開催地以外にもチームキャンプ地が各地域に存在）

		予 選											
		9月											
		20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
開催地	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
北海道札幌市		●	●										
岩手県釜石市													
埼玉県熊谷市									●				●
東京都調布市		●	●										
神奈川県横浜		●	●										
静岡県袋井市													
愛知県豊田市													
大阪府東大阪市													
兵庫県神戸市													
福岡県福岡市													
熊本県熊本市													
大分県大分市													

スタジアムの収容人数と予選・決勝の回数

開催地	決勝リーグ									
	10月					11月				
	19日	20日	26日	27日	1日	2日				
札幌市										
金石市										
熊谷市										
東京都	●	●			●					
横浜市										
袋井市										
豊田市										
東大阪市										
神戸市										
福岡市										
熊本市	●	●								
大分市										

開催地(スタジアムの収容人数:人)	予選	決勝
札幌市(41,410)	2	
金石市(16,187)	2	
熊谷市(24,000)	3	
調布市(49,970)	5	3
横浜市(72,327)	4	4
袋井市(50,899)	4	
豊田市(45,000)	4	
東大阪市(30,000)	4	
神戸市(30,312)	4	
福岡市(22,563)	3	
熊本市(32,000)	2	
大分市(40,000)	3	2